【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年7月7日(2005.7.7)

【公開番号】特開2000-139897(P2000-139897A)
【公開日】平成12年5月23日(2000.5.23)
【出願番号】特願平11-236348
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｂ　6/03
　Ｇ０６Ｔ　1/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｂ　6/03　３３０Ｚ
　Ｇ０６Ｆ　15/62　３９０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成16年11月2日(2004.11.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
スライス厚さ、画像再構成フィルタ、表示視野、写真撮影上の要求条件、及び画像保存上の要求条件のうちの少なくとも１つに関する指定を含むことを特徴とする、イメージング装置によって実行される操作を規定するためのプロトコル。
【請求項２】
前記プロトコルが、ＣＴ神経イメージング、ＣＴ血管造影、腎臓提供者検査、肺塞栓、ＣＴ外傷イメージング、全身ＣＴ検査及び肺疾患スクリーニングのうちの少なくとも１つを指定する請求項１記載のプロトコル。
【請求項３】
前記プロトコルが、ＣＴ血管造影を指定すると共に、ヘリカル走査データの集合を取得するための命令、生の走査データを前処理するための命令、画像の集合を将来的に再構成するための命令、及び画像を表示するための命令を含んでいる請求項１記載のプロトコル。
【請求項４】
前記プロトコルが、頭部外傷検査を指定すると共に、軸方向走査データの集合を収集するための命令、生の走査データを前処理するための命令、頭部の相異なる部分に関して相異なるスライス厚さを持った横断面画像の集合を再構成するための命令、及び前記画像の集合を同時に表示するための命令を含んでいる請求項１記載のプロトコル。
【請求項５】
前記プロトコルが軸方向画像表示モード、多数の超薄スライス横断面画像の重み付け、及び所望のスライス厚さを持った画像の作成を指定する請求項１記載のプロトコル。
【請求項６】
前記画像が次の式に従って作成され、
$I(x,y)_s = \Sigma W_i * I(x,y)_i$
式中、$I(x,y)_s$は得られた画像の位置ｘ及びｙにおけるピクセル値、W_iは最終画像のスライス厚さ及びサブスライス画像の厚さによって決定される重み係数、そして$I(x,y)_i$はサブスライス画像のｘ及びｙにおけるピクセル値である請求項５記載のプロトコル。

【請求項７】
プロトコルに従って走査を実行するようにプログラムされたマルチスライス・イメージング装置において、前記プロトコルがスライス厚さ、画像再構成フィルタ、表示視野、写真撮影上の要求条件、及び画像保存上の要求条件のうちの少なくとも１つに関する指定を含むことを特徴とす装置。
【請求項８】
前記プロトコルがＣＴ神経イメージング、ＣＴ血管造影、腎臓提供者検査、肺塞栓、ＣＴ外傷イメージング、全身ＣＴ検査及び肺疾患スクリーニングのうちの少なくとも１つを指定する請求項７記載の装置。
【請求項９】
前記プロトコルが、ＣＴ血管造影を指定すると共に、ヘリカル走査データの集合を取得するための命令、生の走査データを前処理するための命令、画像の集合を将来的に再構成するための命令、及び画像を表示するための命令を含んでいる請求項７記載の装置。
【請求項１０】
前記プロトコルが、頭部外傷検査を指定すると共に、軸方向走査データの集合を取得するための命令、生の走査データを前処理するための命令、頭部の相異なる部分に関して相異なるスライス厚さを持った横断面画像の集合を再構成するための命令、及び前記画像の集合を同時に表示するための命令を含んでいる請求項７記載の装置。
【請求項１１】
前記プロトコルが軸方向画像表示モード、多数の超薄スライス横断面画像の重み付け、及び所望のスライス厚さを持った画像の作成を指定する請求項７記載の装置。
【請求項１２】
前記画像が次の式に従って作成され、
$I(x,y)_s = \Sigma W_i * I(x,y)_i$
式中、$I(x,y)_s$は得られた画像の位置ｘ及びｙにおけるピクセル値、W_iは最終画像のスライス厚さ及びサブスライス画像の厚さによって決定される重み係数、そして$I(x,y)_i$はサブスライス画像のｘ及びｙにおけるピクセル値である請求項１１記載の装置。
【請求項１３】
$I(x,y)_s$を得られた画像の位置ｘ及びｙにおけるピクセル値、$W1_i$を最終画像のスライス厚さ及びサブスライス画像の厚さによって決定される重み係数、そして$I(x,y)_i$をサブスライス画像のｘ及びｙにおけるピクセル値として、
$I(x,y)_s = \Sigma W_i * I(x,y)_i$
に従って画像を作成するようにプログラムされたマルチスライス・イメージング装置。
【請求項１４】
スライス厚さ、画像再構成フィルタ、表示視野、写真撮影上の要求条件、及び画像保存上の要求条件のうちの少なくとも１つを指定する予め規定されたプロトコルに従って走査を実行するように更にプログラムされている請求項１３記載の装置。
【請求項１５】
前記プロトコルがＣＴ神経イメージング、ＣＴ血管造影、腎臓提供者検査、肺塞栓、ＣＴ外傷イメージング、全身ＣＴ検査及び肺疾患スクリーニングのうちの少なくとも１つを指定する請求項１４記載の装置。
【請求項１６】
前記プロトコルが、ＣＴ血管造影を指定すると共に、ヘリカル走査データの集合を取得するための命令、生の走査データを前処理するための命令、画像の集合を将来的に再構成するための命令、及び画像を表示するための命令を含む請求項１４記載の装置。
【請求項１７】
前記プロトコルが、頭部外傷検査を指定すると共に、軸方向走査データの集合を取得するための命令、生の走査データを前処理するための命令、頭部の相異なる部分に関して相異なるスライス厚さを持った横断面画像の集合を再構成するための命令、及び前記画像の

集合を同時に表示するための命令を含む請求項１４記載の装置。
【請求項１８】
前記プロトコルが軸方向画像表示モード、多数の超薄スライス横断面画像の重み付け、及び所望のスライス厚さを持った画像の作成を指定する請求項１４記載の装置。